



中学校 高等学校

社会科

中学校 1年 高等学校 1年

なぜ富士山の山麓には谷が発達しないのか？

富士山は、2013年ユネスコの世界遺産に登録された。富士山と多くの山の違いを考えることで、日本の自然環境に興味を持つきっかけになるだろう。

富士山は美しい円すい形の姿を保っているのはなぜだろう。

多くの山の山麓には谷が発達しているが、富士山の山麓には谷が発達していない。富士山が、美しい姿を保っている一因は、谷が発達していないからだ。

富士山の山麓には、なぜ谷が発達しないのだろう。

ヒントとして、次のような投げ掛けをして考えさせる。

白糸の滝と華厳滝の違いを考えてみよう。

白糸の滝と華厳滝の写真を見せたり、両方の滝の情報を集めさせたりすることで、違いを考えさせる。大きな違いとして、次のポイントがある。

- ・白糸の滝は、山の中腹から水が湧き出ている。
- ・華厳の滝は、滝上流の水源(中禅寺湖)から水が流れてくる。

この違いは、華厳の滝は男体山の表面を水が流れていて、白糸の滝は富士山の地中を水が流れているということである。富士山の表面は、噴火の繰り返しによって形成された山で、噴出物である砂や礫によって覆われている。そのことで、水は地表面を流れず、山が侵食される前に浸み込んでしまう。そのために、谷が発達せず美しい形のまま保っている。

世界で、同じような姿の山を探させることで、応用編としたい。



©(社)富士宮市観光